

5.8 日影

5.8.1 工事の完了後

(1) 調査事項

調査事項は、表 5.8-1 に示すとおりである。

表 5.8-1 調査事項（工事の完了後）

区分	調査事項
予測した事項	・冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度 ・日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度
予測条件の状況	・施設の状況（建屋の形状、高さ等）
環境保全対策の実施状況	・新施設の高さ（22m）は、既存のごみ焼却施設の高さ（22.5m）以下とする。 ・煙突は既存煙突（100m）より高さを低く（59.5m）することにより、計画地周辺の日影の状況に配慮する。

注 1）（仮称）不燃・粗大ごみ処理施設の影響も踏まえて調査を実施する。

(2) 調査地域

調査地域は、計画地及びその周辺とする。

(3) 調査手法

調査手法は、表 5.8-2 に示すとおりである。

表 5.8-2 調査手法（工事の完了後）

調査事項		冬至日における日影の範囲、日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度	日影が生じることによる影響に特に配慮すべき施設等における日影となる時刻、時間数等の日影の状況の変化の程度
調査時点		工事完了後の時点とする。	
調査期間	予測した事項	冬至日とする。	
	予測条件の状況	「予測した事項」と同一期間とする。	
	環境保全対策の実施状況	「予測した事項」と同一期間とする。	
調査地点	予測した事項	計画地内の建物により日影が生じると予想される範囲とする。	対象事業実施区域の敷地境界の3地点とする。 (図 5.8-1 参照)
	予測条件の状況	計画地内とする。	
	環境保全対策の実施状況	計画地内とする。	
調査手法	予測した事項	竣工図を用いて、真太陽時の8時～16時までの本施設による時刻別日影図、等時間日影図を作成する方法とする。	天空写真を撮影し、天空写真に太陽の軌跡を示す方法とする。
	予測条件の状況	関係資料の整理による。	
	環境保全対策の実施状況	関係資料の整理による。	

